

## 第75回杜の都の環境をつくる審議会における意見とその対応について

No.	発言者	意 見	対 応 内 容
1	中静副会長	都市と生物の共存は国際的にも非常に注目されている部分なので、そのアイデアを入れてほしい。	第2章「1. 公園を取り巻く社会情勢の変化」に「(2)生物多様性の保全」を掲載。 第3章「基本方針3. 自然との共生」及び第4章「基本施策⑦緑地保全から緑地利活用へ」の中に、生物多様性に配慮した緑地管理や利活用について記載。
2	涌井会長	より市民に開放し、(公園が)魅力ある存在であり、利用効用が発揮できるものとするため、市民の力を借りながらやっていくという視点を忘れてはならない。	第2章「3. 今後重視する視点」の中に記載。
3	小貫委員	基本方針「地域コミュニティの醸成」の基本施策に「地域の特色ある公園整備」とあるが、もう少し使われる公園になるためには、ニーズをきちんと拾って、ニーズに合わせた公園計画や公園づくりが必要であり、地域の人達によるマネジメントにつながっていくと思う。	第3章「基本方針2. 地域コミュニティの醸成」及び第4章「基本施策④地域の特色ある公園づくり」の中に、地域ニーズの把握と対応について記載。
4	板橋委員	仙台市の公園マップのようなウェブサイトの中で、エリア毎にこういう公園があるとか、どんな遊具があり、どういう団体が保全しているなどが分かると、まち歩きへの広がりも期待できると思う。	第4章「基本施策⑥地域に根ざした柔軟な管理と利活用」の中にも、公園に関する情報発信の取組について記載。
5	渡邊委員	参考資料2-3(主な対象公園位置図)について、海岸公園で賑わいを取り戻すというのは大事なことであるが、基本計画の沿岸部からの距離に応じたゾーニングとの関連性や都心部地域のピンクの部分の勾当台公園、西公園と大年寺山公園を同じにしているのかということ等を丁寧に考えてほしい。	第4章に、基本施策を展開する公園の候補地として掲載。また海岸公園等について複数の施策に関わる候補地に修正。
6	涌井会長	住宅地の中の公園もあるし、自然度が高いような公園もある。それぞれの公園の個性としっかり連動した柔軟な施策の体系を組み上げてほしい。	第4章に、公園の特性に合わせた、基本施策を展開する公園の候補地を掲載。
7	瀬上委員	安全に対するチェック(責任)が必要である。全体を見て管理できる部署が必要と思う。	第5章「今後の事業展開」を設定し、事業の推進体制の中に役割分担やリスク管理について記載。
8	米倉委員	参考資料2-1(ヒアリングのまとめ)に、公園部局と子育て部局や観光部局との連携が必要と書いてある。みんなが使いやすい公園になるように、行政も何か考えていかなければならない。	第5章「今後の事業展開」を設定し、事業の推進体制の中に関係部局間の連携について記載。